

みちしるべ NO. 17

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



歴史と伝統を受け継ぐ ～開校150年目を迎える年に～ 校長 川島 正晴

新年のお慶びを申し上げます。令和4年(2022年)は寅(とら)年です。虎のような勢いで一人一人の子どもたちが成長していく一年にできるよう、保護者・地域・学校が一体となって質の高い学習・教育活動を進めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。



「虎穴に入らずんば虎子を得ず」(『後漢書・班超伝』)ということわざは、「冒険をしなければ、何も得られない」と解釈されています。子ども達は、遊びでも学習でも試行錯誤をし、冒険を繰り返しながら多くを学び、成長していきます。(冒険=チャレンジと読み替えていいでしょう。)

学校では、今年目標を次のように定め、冒険する一年にしていきたいと考えています。

- ① コロナ禍でも、感染症対策を徹底しつつ、学びの質を保障する「個別最適化」と「協働最適化」を、タブレットの活用と学び合いで実現します。(令和の日本型学校教育)
- ② 一人一人が協同的な学びに参加することで成長できる「ケアの教室」「ケアの学校」を目指し、一人も取り残さない公正公平で平等な学び(ウェルビーイング=幸福)を追求します。
- ③ 学年ブロックで授業を交換する教科担任制を生かしつつ、教職員、保護者、地域の方々との協働で教科・領域の横断的で持続可能な授業・体験的な授業を進めます。(SDGs教育)



今、新しい感染株による急速な感染拡大の中にあります。1月中は、感染予防が喫緊の課題です。アルコール消毒、手洗い・うがい、マスクの着用を徹底します。ご家庭でも、外出の折には、十分な対策の下で感染予防をお願いします。



私は、この状況下で学習を停滞させてしまうことのほうが心配です。学びの経済損失は全世界で1800兆円にのぼり、協同的な学びを一時中止した日本は、世界で最も経済損失が大きいとされています。

今こそ、GIGAスクール構想を実現するICTを駆動した個別最適な学びと協同的な学びの同時追求こそが、「できる学力」と「わかる学力」を成長させるために必要です。1873年(明治6年)5月に開校した権小は、2022年(令和4年)で150年目を迎えます。私達教職員は権小の歴史と伝統を受け継ぎ、新たな道を拓きます。皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。